

地域のお役にたつために



民生委員・児童委員

米川 容子

インタビューに応じて頂いた、米川容子さんは、令和元年12月になられた旧陣屋一・二区・小人町担当の民生委員・児童委員さんです。

Q 活動の内容を教えてください。

A 主に75歳以上の一人暮らしの高齢者を中心に見守りをしています。

Q どんなことに心がけていますか。

A 一人一人の現在の状況を聞いて何か困っている事が無いか、話し相手になれるように心がけています。

たずねてみたら

Q 活動のご苦労はありますか。

A 現在、コロナ禍で今まで通りの活動とは違っていることに戸惑っています。

Q 委員になってよかったことは何ですか。

A 訪問して、こうして話を聞いてもらえることが嬉しいと言われた時です。

Q 今後の抱負を聞かせてください。

A 地域のみなさんの身近な存在になりたいと思います。まだまだ、知識不足なことが多いですが、気軽に声を掛けてください。

(寄贈・寄付関係)

宍戸支部に、未使用はがき48枚寄贈 大高たか子様
県立中央病院へ、3万円寄付(エール募金 宍戸支部)

第129号

令和3年6月17日発行

発行 笠間市社協宍戸支部 雨谷 高市
編集 宍戸支部広報委員会
印刷 大塩企画

笠間市社協
宍戸支部だより

—福祉標語入選作品から—
ささえの手 そのやさしさを 福祉にいかそう



見守り活動：宍戸駅

大古山大杉神社探訪（烏天狗像）

わが町発見

大杉神社は大古山の八幡神社の右手に鎮座する一間四方の小祠です。八幡神社の「大絵馬」は有名ですが、大杉神社の祭神「白狐にまたがった烏天狗像」を知る人はあまり居ません。大杉神社は、今のコロナと同じように、当時恐れられていた流行り病である疱瘡（ほうそう）を除けの神さまとしても広く信仰されていました。今回は、神社に詳しい地域の方にお伺いいたしました。

(インタビューから) 天狗像のある祠は樹齢約四百年のご神木を伐採した時の収入で昭和末期に建て替えました。戦前までは、大杉神社のお祭りが行われ「大杉囃し」の太鼓に合わせて「ホイホイ」と人々が踊ったそうです。リズムは隣接集落間で違い、集まった子供たちは甘酒を頂いたそうです。その様子を懐かしそうに話してくださいました。

※この「天狗様」はコロナ禍の救いの妖怪「アマビエ」と同じ疫病除けと、火防の神でもあります。



像の安置されている厨子背面には、「文化六己巳（つちのとみ）十二月吉日（一八〇年）矢野下村大仏師千葉帯刀公胤（ちばたてわききみたね）・大古山大工嶋田喜左衛門・願主嶋田四郎兵衛」と墨書されている。

編集委員

安達正男 小川福子

羽生 力 中塚久美子

（支部長あいさつ）
春はあけぼの？

令和三年の春は、そうなるはずでした。コロナからの束縛が解消の方向に向かい、日の出前の美しい朝（新年度）を迎えることができたと希望していました。しかし、現実を見てのとおりです。コロナウイルスは弱体化するどころか、さらに強力なウイルスへと変異し、社会不安を拡大しています。もうコロナ以前の生活への回帰はありえないのかとさえ思われる今日この頃です。

アフターコロナという言葉が聞かれますが、人間社会はこの疫病を契機として、大きく変化していくことになるのでしょうか。

二年度に引き続き、代議員会を中止とさせていただきました。他の事業についても、厳しい選択を迫られそうです。まさに、支部社協の存在自体が危ぶまれているという認識を持たなければなりません。そして、この危機を乗り越えるためには、社協の事業全体の見直しが必要であります。

宍戸地区に根づいた事業を展開していたまちづくり宍戸塾が解散しました。宍戸の歴史的価値を見出し、この地域に住む皆さんに誇りを与えた功績は大きいものがあります。この財産を守りぬくためにも、宍戸塾が進めてきた精神を、その一部だけでも引き継いでいくことも社協の仕事かなと感じています。これまで宍戸塾を支えてきた皆さんお力をお貸しください。

今年度、新たな支部社協の事業として、災害対策費を盛り込みました。ほんの少ない予算ですが、計画的に缶詰等の備蓄を行い、災害時に役に立ちたいと考えております。また、バザーについても、どのようにすれば実施が可能かを検討していきます。宍戸塾所有の掲示板も引き継ぎました。地域全体でご活用下さい。広報誌もより地域性を重視した話題を掲載していきます。配食活動も利用者の皆さんにさらに喜ばれるものとなるよう頑張ります。

最後に、本広報誌には三年度の事業計画等を掲載しています。社協活動がさらに地域に密着したものとなるため、忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。

令和2年度決算報告 R2.4.1～R3.3.31

収入の部 (単位:円)				
項 目	予算額	決算額	増△減	付 記
繰越金	304,156	304,156	0	前年度繰越金
還元金	880,000	883,000	3,000	会員会費還元金(会員会費助成額)
助成金	163,000	208,300	45,300	福祉コミュニティ助成金 50,000 広報助成金 88,300 穴戸小 PTA 助成金 25,000 エアコン修理助成金 45,000
事業収入	430,000	141,620	△ 288,380	女性部手づくり収益金 配食個人負担金
寄付金	10,000	0	△ 10,000	
分担金	24,000	24,000	0	まちづくり穴戸塾よりコピー機リース代
雑収入	0	4	4	利子
合 計	1,811,156	1,561,080	△ 250,076	

支出の部 (単位:円)				
項 目	予算額	決算額	増△減	付 記
会議費	15,000	9,570	△ 5,430	代議員会 両委員合同打ち合わせ会 他
事務費	15,000	17,866	2,866	封筒 コピー用紙 ボールペン ハガキ代 他
事業費	1,270,000	898,083	△ 371,917	
青少年育成費	100,000	20,000	△ 80,000	
女性部活動費	100,000	55,877	△ 44,123	手づくり会費、手づくりマスクの材料代 他
こぶしの会活動費	70,000	70,000	0	
広報紙発行費	180,000	176,132	△ 3,868	支部だより 2 回分
児童育成費	50,000	50,000	0	笠間市子ども会育成連合会穴戸小支部活動
視察研修費	75,000	0	△ 75,000	中止
穴戸小助成費	80,000	30,000	△ 50,000	穴戸小運動会祝金
研修会参加補助費	5,000	0	△ 5,000	
在宅福祉費	330,000	256,762	△ 73,238	配食 10 回分(4、5月中止)
高齢者補助費	50,000	50,000	0	高齢者クラブ
区長会活動助成費	50,000	50,000	0	
高齢者助成費	150,000	98,054	△ 51,946	グランドゴルフ2回分、ししどサロン中止
備品購入費	30,000	41,258	11,258	フライパン、デジカメ(広報)
需用費	300,000	199,946	△ 100,054	電話・ガス・保険料・コピーリース代他
雑 費	35,000	33,000	△ 2,000	会館内コピー機インクカートリッジ代
連絡調整費	15,000	0	△ 15,000	各事業実施へ向けての連絡経費
予備費	161,156	167,500	6,344	県立中央病院支援、エアコン修理代
合 計	1,811,156	1,325,965	△ 485,191	

収入合計 1,561,080 円－支出合計 1,325,965 円＝残金 235,115 円 次年度へ繰り越し

令和3年度 予算書 R3.4.1～R4.3.31

収入の部 (単位:円)				
項 目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	付 記
繰越金	235,115	304,156	△ 69,041	前年度繰越金
還元金	880,000	880,000	0	会員会費還元金(会員会費助成額)
助成金	163,000	163,000	0	福祉コミュニティ助成金 50,000 広報助成金 88,000 穴戸小 PTA 助成金 25,000
事業収入	430,000	430,000	0	福祉バザー収益金・ふるさとまつり収益金 女性部手づくり収益金・配食個人負担金
寄付金	10,000	10,000	0	地域からの寄付金
分担金	0	24,000	△ 24,000	まちづくり穴戸塾よりコピー機リース分担代
雑収入	0	0	0	利子 他
合 計	1,718,115	1,811,156	△ 93,041	

支出の部 (単位:円)				
項 目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	付 記
会議費	15,000	15,000	0	代議員会 両委員合同打ち合わせ会 他
事務費	15,000	15,000	0	封筒 コピー用紙 ボールペン 他
事業費	1,380,000	1,270,000	110,000	
青少年育成費	120,000	100,000	20,000	地区懇談会等
女性部活動費	100,000	100,000	0	
こぶしの会活動費	70,000	70,000	0	
広報紙発行費	180,000	180,000	0	支部だより 2 回分
児童育成費	50,000	50,000	0	笠子連穴戸小支部活動
視察研修費	75,000	75,000	0	3 回実施分
穴戸小助成費	80,000	80,000	0	運動会、三世代交流
研修会参加補助費	5,000	5,000	0	
在宅福祉費	330,000	330,000	0	配食 12 回分
高齢者補助費	50,000	50,000	0	高齢者クラブ
区長会活動助成費	50,000	50,000	0	
高齢者助成費	150,000	150,000	0	グランドゴルフ2回・ししどサロン
防災対策費	20,000	0	20,000	非常食缶詰等
備品購入費	100,000	30,000	70,000	コピー機(70,000)
需用費	234,000	300,000	△ 66,000	電話・ガス・保険料・コピー機リース代 他
雑 費	35,000	35,000	0	会館内コピー機カートリッジ代
連絡調整費	15,000	15,000	0	各事業実施へ向けての連絡経費
予備費	24,115	161,156	△ 137,041	会館内の修理等
合 計	1,718,115	1,811,156	△ 93,041	

(支部役員)														
区 長														
芝 沼	大 内	大 和	青 柳	青 木	磯 野	島 野	菅 野	川 上	鈴 木	中 崎	星 野	前 嶋	綿 引	
茂	信 夫	信 吉	弘 夫	茂 夫	信 吾	忠 儀	源 重	正 二			文 男	晃 司	義 男	
上 町	中 町	下 町	橋 爪 1	橋 爪 2	矢 野 上 郷	大 古 山	ベリオ・コリナ	南 小 泉 1	南 小 泉 2	(社協運営委員)	南 小 泉 3	下 加 賀 田	旧 陣 屋 1	旧 陣 屋 2
(支部委員)														
吹 野	八 田	高 澤	濱 崎	出 口	園 部	宮 田	木 山	山 崎	石 川	藤 枝	金 澤	水 落	副 委員長	副 委員長
治	良 夫	幹 雄	澄 夫	康 彦	一 彦	哲 士	眞 利	敏 之	博 美	周 二	亮 介	正 明	義 人	星 山
旧 陣 屋 3	小 人 町	八 反 山	星 山 1	大 田 町 2	大 田 町 1	松 山 団 地 2	松 山 団 地 3	松 山 団 地 1	松 山 団 地 2	松 山 団 地 3	県 営 松 山 アパート	八 幡 下	ひ ば り ケ 丘 団 地	パ ー ク タ ウ ン と も べ

副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長
副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長
副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長
副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長
副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長

(女性部)														
部 長														
山 本	上 沼	川 俣	神 野	山 本	塩 下	田 口	西 村	羽 生	山 中	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長
信 子	み どり	敏 子	静 江	信 子	江	子	安 美	力	義	一	南 小 泉 1	松 山 南 団 地 1	松 山 南 団 地 2	松 山 南 団 地 3
旧 陣 屋 3	星 山 2	橋 爪 2	中 町	旧 陣 屋 3	(手づくり会)	旧 陣 屋 1	(手づくり会)	大 田 町 2	(会 計)	下 町				

副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長
副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長
副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長
副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長
副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長	副 委員長

(支部役員)														
支 部 長														
雨 谷	小 菅	前 嶋	関 令 子	米 川 雄 一	瀬 谷 雅 彦	海 老 澤 征 子	横 倉 一 男	根 本 芳 雄	伊 東 勝 男	同	同	同	同	同
高 市	栄 子	晃 司	令 子	雄 一	雅 彦	征 子	一 男	芳 雄	勝 男					
旧 陣 屋 2	中 町	旧 陣 屋 1	橋 爪 2	旧 陣 屋 2	松 山 団 地 3	旧 陣 屋 2	大 古 山	大 田 町 2	中 町					

施 策

- 1 地域住民とともに社会活動への理解を深め、会員の確保に努める。
- 2 区長会、民生委員・児童委員協議会、高齢者クラブとの連携を図る。
- 3 笠間市社協との連携を強化し、他支部との交流を進める。
- 4 福祉推進委員の資質向上に資する研修会及び視察研修を実践する。
- 5 児童福祉事業の充実を図る。

- (1) 小学校との連携を密にした「三世代交流事業」への協力
- (2) 子ども会、スポーツ少年団活動等への援助
- (3) 地域の教育環境整備及び登下校見守り活動に協力

- 6 社協穴戸支部会館を会場とする「介護予防の運動・体操教室」に協力する。
- 7 各専門委員会の事業

- (1) 青少年健全育成委員会
(ア) 青少年健全育成及び安心して住める地域をめざす「地区懇談会」の開催
(イ) 「小学生夏休みものづくりわくわく体験」等を実施

- (2) 女性部
(ア) 高齢者を対象とした毎月1回の「配食サービス」を実施
(イ) 福祉意識高揚を目指した「福祉バザー」の開催
(ウ) 女性部員の特性を生かした「手づくり会」の実施
(エ) 資質向上に資する研修会及び視察研修の実施

- (3) こぶしの会
(ア) 「配食サービス」時、高齢者との交流活動の実施
(イ) 高齢者によるグランドゴルフ大会(年2回、穴戸地区高齢者グランドゴルフの共催)の企画・運営
(ウ) 地域サロン立ち上げのキッカケとする「ししどサロン」の企画・運営
(エ) 高齢者を対象とした市外研修会(自然観察会)の企画・運営

- (4) 広報委員会
(ア) 「穴戸支部だより」第129号～第130号の発行
(イ) 研修会及び研修視察への積極的参加
(ウ) 広報関係諸団体との交流促進
(エ) コミュニティボードの企画・運営、維持・管理

コロナ禍であるからこそ 福祉の大切さを！

コロナウィルス対策の三密を避けた代議員会の方法について、去る4月3日に臨時運営委員会が開催されました。協議の結果、書面による対応となり、その作業が行われました。この代議員会書面による議決で、今年度の施策・役員等が以下の通り決定しましたのでお知らせ致します。

コロナ禍という向かい風に屈することなく、地域の力を合わせて福祉力を共有していきましょう。ご支援ご協力を宜しく願います。



臨時運営委員会の様子



後日行われた作業の様子